

科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日	科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日
国際政治史	<春集>		POLS2420	月3・木1					

【教員氏名】

- 塚田 鉄也
- ・研究室：聖アンデレ館8階810号室
 - ・オフィスアワー：春学期：月曜日4限、秋学期：月曜日3限
 - ・メールアドレス：

【単位数】

4 単位

【授業形態】

『講義』

【講義・演習概要】

国際社会はしばしば、国内社会と比べて変化に乏しいといわれます。実際、近代になってヨーロッパで形成された国際政治の基本的な枠組みは、現在もその特徴の多くを留めています。しかし他方では、特に20世紀半ば以降、そうした伝統的な国際政治の枠組みにはおさまらない様々な変化も生じています。本講義では、こうした国際社会の持続と変化に注目しながら、近代以降の国際政治の歴史を考察していきます。

【学習（到達）目標】

- ①国際政治がどのような基本的特徴を有しているのかを理解する
- ②そうした基本的特徴が、どのように形成され、どのように持続・変化してきたかを理解する

【講義・演習計画】

- 第1回：国際政治史を学ぶ意義
- 第2回：国際政治の基本構造
- 第3回：国際政治の理論
- 第4回：16世紀のヨーロッパ
- 第5回：三十年戦争とウェストファリア体制
- 第6回：勢力均衡の時代①：同盟の論理
- 第7回：勢力均衡の時代②：小国の運命
- 第8回：革命の時代
- 第9回：ウィーン体制の形成と展開
- 第10回：バクス・ブリタニカ
- 第11回：新たな勢力の登場①：ドイツ
- 第12回：新たな勢力の登場②：アメリカ、イタリア、日本
- 第13回：帝国主義の時代①：帝国主義の諸相
- 第14回：帝国主義の時代②：大國間関係
- 第15回：第一次世界大戦
- 第16回：パリ講和会議
- 第17回：ロシア革命
- 第18回：1920年代の国際関係
- 第19回：1930年代の国際関係
- 第20回：第二次世界大戦
- 第21回：戦後秩序の模索
- 第22回：冷戦時代①：起源
- 第23回：冷戦時代②：展開
- 第24回：冷戦時代③：終結
- 第25回：バクス・アメリカーナ
- 第26回：ヨーロッパ統合の歴史
- 第27回：脱植民地化の展開
- 第28回：冷戦後の国際関係
- 第29回：21世紀の国際関係
- 第30回：まとめ

【成績評価の方法】

試験評価：100%

【テキスト】

小川浩之・板橋拓己・青野利彦『国際政治史—主権国家体系のあゆみ』（有斐閣）

【参考文献】

- 君塚直隆『近代ヨーロッパの国際政治史』（有斐閣、2010年）
 有賀貞『国際関係史—16世紀から1945年まで』（東京大学出版会、2010年）
 佐々木雄太『国際政治史—世界戦争の時代から21世紀へ』（名古屋大学出版会、2011年）

【事前および事後学習の指示（事前学習 60 時間 事後学習 60 時間）】

テキストの指示された部分を事前に読んでおいてください。また、国際政治史を理解するには、世界史の知識が不可欠です。高校で世界史を履修していない場合は、簡単な入門書等（初回の授業で紹介）も活用してください。